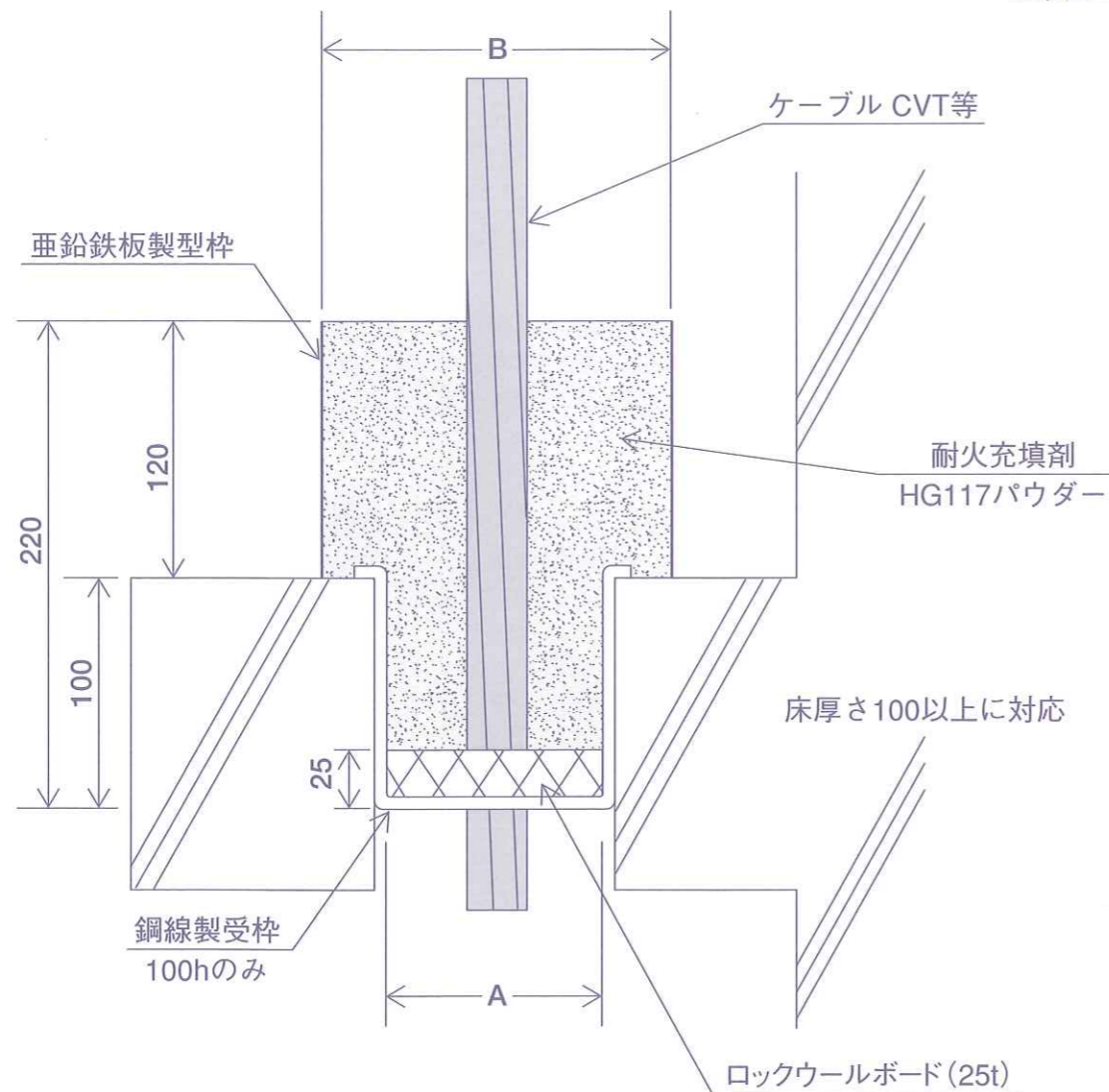


フラマシステム® A標準施工図

サイズ	75φ用	100φ用	125φ用	150φ用
A	75	100	125	150
B	100	130	160	180
ケーブル	CVT60 スケ	CVT150 スケ	特別	CVT200 スケ迄

※単位：mm



ケーブル(床)貫通部防火区画防火処置キット

フラマシステム® A

=施工手順書=

特長

- 1 施工はとて簡単で1キット単位で出荷可能です。
- 2 狭小な場所、床の凹凸、変形ボイドでも柔軟に対応し、作業性向上に寄与できます。さらにチームワークで効率向上。
- 3 フラマシステム®はコンクリート床と大変なじみが良く、防水(水密)・防煙(気密)性に優れています。東京ドームでも採用されました(気密性に特に優れています)。洪水・大雨・台風後に大火となっても大丈夫です。
- 4 外観均一性、美観、統一感、安全性能均一性があります。
- 5 耐火充填剤は鉱物系無機不燃材料で 耐久性があります。
- 6 今後増加見込の高層マンションに対応し、直接ケーブル中間支持用サドル&スペーサー(別売)が装着可能です。

\*\*施工手順書を施工前にご一読下さい\*\*

安全と環境保全のフラマシステム®

フラマシステム株式会社

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町2丁目1-13

中村ビル4階

TEL 03-5283-2457

FAX 03-5281-0050

●特約店

# フラマシステム® A工法

この度、フラマシステム®Aをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

—施工前に必ず一読していただき、確実な施工をお願いします。—

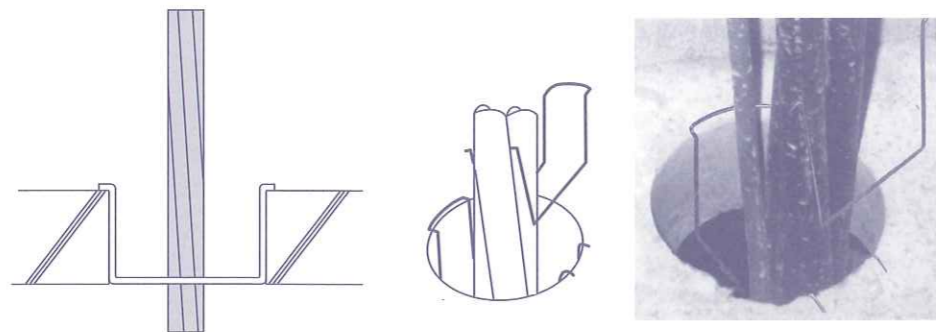
- ・円状開口部はボイド管75、100、125、150mmφで構築して下さい。
- ・すべての施工は床上面から処理できます。
- ・施工時の手の保護の為、軍手等をご使用下さい。

○梱包内容—キットが梱包されています。お確かめ下さい。

- ・鋼線製受枠金具(針金) 2本
- ・ロックウール板(円形) (半円状2枚) 1個
- ・亜鉛鉄板製型枠(円筒形) 1個
- ・耐火充填材 HG 117 1袋(大袋25kg袋の場合もあります)
- 充填材の一般的使用量 75φ用……1.2kg、100φ用……1.4kg  
125φ用……3.0kg、150φ用……4.0kg

## 使用手順

手順-1 鋼線製受枠金具の挿入：必ず2本使用して下さい。1本では評定外です。  
受枠金具末端部がスラブ上面にかかるように配置して下さい。



手順-2 ロックウール板挿入



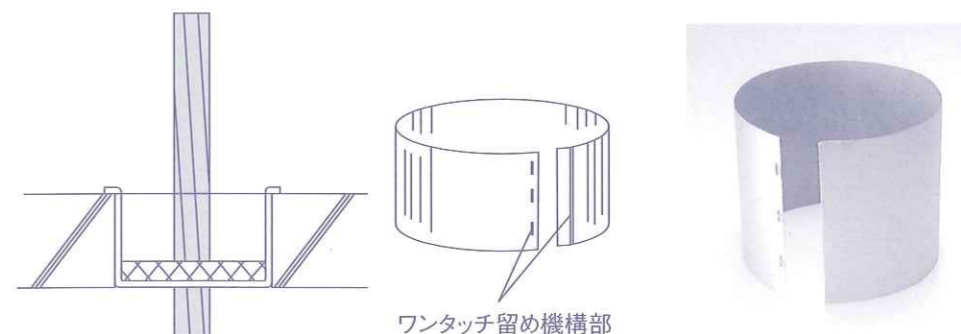
\*ケーブルサイズが大きい場合、必要に応じてロックウール板をカッター等でケーブル形状に合わせるように切断して下さい。ケーブルとロックウール板との間にすきまがある場合は、ロックウールをつめて下さい。

手順-3 亜鉛鉄板製型枠上面に配置：

ケーブルが型枠中にあることを確認し、型枠両端のワンタッチ留め機構部により接合留めします。

\*一度留めますと簡単には外れませんので注意して下さい。

外す場合は手の保護の為、軍手等をしてペンチ・ニッパー等で留め受金具を外して下さい。



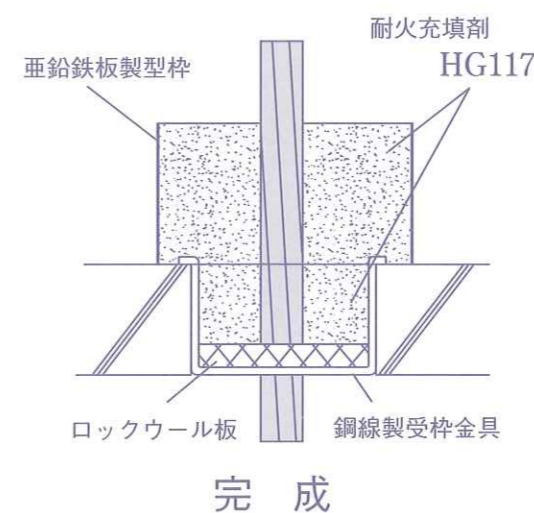
手順-4 耐火充填剤“HG117”の混合・充填：

耐火充填剤と水を良く混合し、亜鉛鉄板製型枠上端まで密に充填します。

推奨重量比 (耐火充填剤)：(水) = 10：6

\*階下のケーブルを白く汚さぬよう、スラブ内充填する耐火充填剤は水を少なめに(硬めに)混練するのがポイントです。

\*混合後は常温で2時間で硬化しますので、2時間以内に充填して下さい。



国土交通大臣認定シールを良く見える場所に貼付して下さい。

注意： \*施工完了後、3時間はケーブル等を動かさないで下さい。  
\*ご不明な点がございましたら弊社代理店へご連絡下さい。